

2025.

1

# 海外トピックス

静岡県海外駐在員報告

静岡県地域外交局



IEAT 国際酒類展示会へ出展

## 東南アジア

インド・グジャラート州と包括的な友好協定書を締結  
豊かになるシンガポール国民及び永住権保持者

## 中国

待望の静岡～香港便が就航！香港発初便には「ちびまる子ちゃん」が登場！  
杭州っ子の新たな足になるか!?!ヘリコプターによる「低空バス」の運航開始

## 韓国

「非常戒厳」という短時間の異変

## 台湾

交通部観光署の「GLOBAL TOURISM FORUM」に登壇、本県の魅力をPR  
高雄で初の「B-1グランプリ」開催

# 東南アジア駐在員報告

駐在員：竹田敏彦

## 経 済

### インド・グジャラート州と包括的な友好協定書を締結

12月22日から25日まで、知事、県議会議員、浜松市長、浜松市議会議員、企業関係者を含む70名以上の訪問団とともに、インド北西部のグジャラート州を訪問した。

グジャラート州は、インドの国土の6%、人口の5%を占め、かつて州首相を務めたモディ首相のリーダーシップにより「グジャラートの奇跡」と称される飛躍的な発展を遂げた地域だ。現在、同州はインドの製造業の37%、総輸出の33%を担う産業州となり、年間75万台の自動車を生産するスズキ株式会社をはじめ、多くの日系企業が進出している。また、兵庫県との友好提携をはじめ、日本の自治体とも深い関係を築いている。

今回の訪問では、経済、教育、観光・文化等の分野での包括的な友好協定を締結した。締結式にはブペンドラ・パテル州首相をはじめ、多くの州政府関係者が出席し、両地域の交流を通じた発展への期待が語られた。

滞在期間は実質3日間と短いながらも、協定締結に加え、現地関係者とのネットワーク構築、スズキ・モーター・グジャラート、グジャラート大学、アーメダバード経営者協会への訪問など多岐に渡る活動を行った。

パテル州首相や同州関係者には、是非本県を御訪問いただきたいと思います。同州との具体的な協業として、人材交流やスタートアップ分野での連携を推進するため、現地により近いシンガポールから支援していく。

## 社会・時事

### 豊かになるシンガポール国民及び永住権保持者

シンガポール統計局が5年に1回実施する家計支出調査（調査期間：2022年11月～2023年11月）の結果を発表した。前回調査（2017年11月～2018年11月）と比較すると平均世帯月収は前回調査比年4.1%増の15,473ドル（約175万円）、個人月収は同4.1%増の5,197ドル（約59万円）と、それぞれ増加している。一方で、支出も世帯では同2.8%増の月5,931ドル（約67万円）、個人では同3.1%増の月1,986ドル（約22万円）となった。支出項目の上位は、住宅費、食費、移動費であり、具体的には、住宅費が世帯あたり2,122ドル（約24万円）、食費が月1,422ドル（約16万円）、移動費が月951ドル（約11万円）となっている。支出項目のなかで5年前調査と比較して特に大きな変化が見られたのは、オンラインショッピングの利用率である。前回調査では全世帯の約6割であった利用率が、今回は82%に達し、全支出の11.9%がオンラインショッピングに充てられているとのことだ。また、持ち家率は87.9%と非常に高いが、自動車保有率は公共交通機関の充実や車両価格の高さを背景に、36.3%にとどまっている。

同時期に発表された人材開発省の労働市場調査によれば、高齢化が進むなかで、国民及び永住権保持者の労働力人口に占める60歳以上の割合が18.9%に拡大している。一方、30歳未満の割合は、少子化や若年層の学業優先の傾向により14.6%へ減少した。シンガポールも日本と同様に少子高齢化の課題を抱えており、豊かな生活を維持するための将来的な労働力の確保が懸念される状況である。

# 中国駐在員報告

## 駐在員：石川 祐介

### 経 済

#### 待望の静岡～香港便が就航！香港発初便には「ちびまる子ちゃん」が登場！

12月17日午前8時、香港空港の第1ターミナル209番ゲート前で「香港エクスプレスによる香港～静岡線の就航を記念して、ちびまる子ちゃんが登場します！」とアナウンスが流れると、スマートフォンやカメラを持った多くの乗客が集まってきた。

ほどなくして、香港エクスプレスのイメージカラー「紫色」の制服を着たちびまる子ちゃんが現れると、あたりは歓声に包まれた。同社スタッフとして搭乗ゲートでお客様を機内へと誘導し、希望する方々と記念写真を撮影していく。全てのお客様が搭乗すると、自らも機内に乗り込み「皆さん、私の故郷・静岡へ行ってらっしゃい！」と広東語でアナウンスし、満席近くまで埋まった乗客を静岡へ送り出した。

初便の香港～静岡の所要時間は3時間10分。当日は天候にも恵まれ、着陸時に富士山が姿を見せると、機内はまたもや歓声に包まれた。

初便に搭乗した香港エクスプレス航空のジャネット・マオCEOによると「静岡は香港人が大好きなちびまる子ちゃんの故郷であり、観光コンテンツも豊富であるため、香港現地では多くの反響が寄せられている」とのこと。

アフターコロナの新規就航地として注目を集める香港。中国大陸とは異なる雰囲気味わいに、是非、静岡からも足を運んで頂きたい。



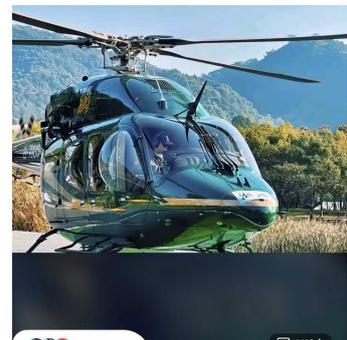
### 社 会

#### 杭州っ子の新たな足になるか!?ヘリコプターによる「低空バス」の運航開始

浙江省・杭州市の航空会社「杭州高値通用航空」は、12月から市内の観光地やビジネス地区を結ぶ「低空バス」の運航を開始した。同社によれば、同月にも10～15路線の運航を開始する予定だという。

利用されるのは、米国ベル社の4名乗り小型ヘリコプター「ベル505」だ。いわゆる観光遊覧ではなく、観光地・商業施設・ハイテク企業などニーズのある発着地を線で結ぶため「低空バス」として位置づけられる。記念すべき初路線は蕭山区のリゾート地「湘湖」と、銭塘江沿いの近未来エリア「銭江新城」を結ぶ約15キロの区間で、車両で通常30～45分のルートを支5分で結ぶ。

運賃は498元(約1万457円)と高価だが、路線増加と需要の高まりで、数年後には5分の1程度に下がる見込みという。本サービスが杭州っ子の足として定着するか期待したい。



# 韓国駐在員報告

駐在員：高橋 誠

## 政治

### 「非常戒厳」という短時間の異変

世界中で大々的に報道された事件ゆえ、既に多くの情報が知られているが、12月3日の夜から4日にかけての非常戒厳騒動の個人的な実体験をお伝えしておきたい。

3日22時20分頃だったろうか。韓国国営放送KBSニュースアプリの速報が入った。「尹大統領が緊急記者会見を開く」とのみあり、中身はない。北朝鮮？辞任？どちらでもなさそうな気はするが何だろう？と思いつつ、家でテレビを点けてみると、既に会見が始まっていた。要は、最大野党「共に民主党」が弾劾を乱発し、特別検察だったり、減額予算案の単独処理など数々の反国家的行為で国政を麻痺させている、北朝鮮に従う反国家勢力を一掃するために非常戒厳を宣布するという内容だった。

4月の総選挙で野党が勝利しており、その上、最近は与党の韓東勲(ハン・ドンフン)代表(当時)とも不仲というのは知られていた。追い詰められていたことはわかるが、正直私は「この人、何を言っているんだ？『戒厳』って？」と疑問に思うのみで、何が起ころのかわかっていなかった。

すると、あれよあれよで戒厳軍が国会に進入。テレビを見ていると、戒厳司令部が設置され、国会・地方議会など集会の禁止や、報道規制まで布告したというので、「これはまずい」と思った私は、無事だろうと思いつつも、グループトークで事務所職員の無事をまず確認。翌朝の情勢を見て安全が確認できるまでは出勤しなくてよい旨を皆に伝えた。

固唾を飲んでテレビを見続けていると、どうも軍は乱暴な動きはほぼしていない。野党の党首である李在明(イ・ジェミョン)氏が国民に対し国会に集まれと檄を飛ばしたため、国会前では一部市民が駆け付け声をあげていたが、多くの国会議員も議場に集結すると、午前1時に国会で戒厳令の解除要求を可決。解除要求が可決されたにもかかわらず軍が動いていると「反乱軍」とみなされるようで、即座に軍は国会から引き始めた。

非常に驚いたが、これで多分大丈夫だろうと、ホッと眠りについた。

しかしこれら一連の出来事はすべて夜間に起こったこと。早寝早起きで通勤している職員は、まったく気づかずに家を出た後、私のメッセージに気づいて初めて事件を知ったという。同じように気づかなかった人も多くいたようだ。この日は全員通常通り出勤し、私は在韓日本大使館など関係各所に問い合わせ、必要な情報収集を行った後、県庁に報告を入れた。日本人学校や韓国の学校もほとんど朝から平常通りだった。

報道されている内容や政治的な考えはここで述べるつもりはない。ただ、日本に比べると民主主義の歴史は浅い国ではあるものの、まさか大統領が自国の国会に対し兵を動かすような事態が起こるとは、私もそうだが、韓国の国民も想像していなかった。

直後から日本の報道では今後の日韓関係を心配する声ばかりが溢れていたが、正直それは後回しである。言論や通信が制限される世の中を今の韓国の国民が許すわけではない。

その後、大統領弾劾や数々の捜査が続いているが、大規模なデモや集会が一定の場所でたまに行われることを除けば、事件翌日からいたって普段通りである。海外からの観光客もたくさん訪れている。冬の寒いソウルも静岡県では味わえない良さがあるので、是非多くの県民の皆様にも富士山静岡空港から遊びに来ていただければ嬉しい。

# 台湾駐在員報告

## 駐在員：市川 美奈子

### 行政

#### 交通部観光署の「GLOBAL TOURISM FORUM」に登壇、本県の魅力をPR

12月11日、台南市で「GLOBAL TOURISM FORUM」が開催された。同フォーラムは台湾交通部観光署の5つの国家風景区管理処の主催によって行われたもので、台湾の観光関係者を中心に約70名が参加した。

同フォーラム開催にあたって、台湾交通部西拉雅（シラヤ）国家風景区管理処から弊所に、「観光関連業務に従事する外国人の視点から台湾南部を視察し、フォーラムの場で魅力と改善点を指摘してほしい」との依頼が寄せられた。これを受けて所長の市川美奈子が、外国人観光客の誘客に積極的な台湾南部（嘉義県・台南市）の施設を4日間かけて視察し、視察の感想や観光地への提言をフォーラムで発表した。また、フォーラムでは本県の観光に関するPRを行ったほか、台湾の観光地の課題解決につながりそうな本県の事例を紹介したところ、参加者から「今度日本に行くときには是非静岡県に行ってみよう」との声が上がった。

今回、「観光客を誘致する側」ではなく「観光客側」の目線で台湾の観光地を視察する機会をいただき、言語対応や交通アクセス拡充の重要性、ターゲットの明確化の必要性などを改めて実感した。これらの課題は、本県の観光地にも共通する点があると思う。観光関係に従事する方々との意見交換を通じて、できることから課題解決に努めていきたい。また、台湾における本県のさらなる認知度向上を目指して、引き続き本県のPRに邁進したい。



【フォーラムでの本県PR】

### 経済

#### 高雄で初の「B-1グランプリ」開催

12月21日と22日の2日間、高雄市で初の「B-1グランプリ」が開催された。本件は、高雄市政府が高雄市内の中央公園で開催するクリスマスイベント「高雄聖誕生活節」の一環として行われたもので、この2日間の「高雄聖誕生活節」の来場者は199,089人に上った。特に初日の夜の来場者が多く、警官が会場周辺の交通規制を行うほどの賑わいとなった。

「B-1グランプリ」に出場したのは、ご当地グルメを地域資源としたまちおこしに取り組む「愛Bリーグ」加盟団体のうちの14団体。本県からは「富士宮やきそば学会」が出場し、この2日間のために日本から麺を輸出して、本場の富士宮やきそばを振る舞った。弊所は富士宮やきそば学会のブースに本県パンフレットを配架して、本県のPRを行った。

同イベントでは「お気に入りグルメに箸で投票する」という日本のB-1グランプリのルールが踏襲され、来場者は、自身の「押しグルメ」に熱心に票を投じていた。栄えある1位を獲得したのは津市の「津餃子」、2位は松阪市の「松阪鶏焼き肉」。富士宮やきそばは惜しくも賞を逃したが、来場者からは「麺に食べ応えがあっておいしい」との声が多く聞かれた。

JNTOの調査によると、訪日旅行経験のある台湾人の57%が、次回の訪日旅行の楽しみに「食」を挙げている。食は日台共通の関心事。食でつながるご縁や興味関心を大切に、静岡と台湾の交流拡大に努めたい。



【高雄市長（右3人目）も来場】

## 静岡県 海外駐在員事務所

### ●東南アジア駐在員事務所（シンガポール）

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(S0H02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	<a href="http://shizuoka.sg/">http://shizuoka.sg/</a>		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

### ●中国駐在員事務所（上海）

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	<a href="http://www.shizuokash.com">http://www.shizuokash.com</a>		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

### ●韓国駐在員事務所（ソウル）

住所	韓国ソウル特別市中区武橋路 21 The Exchange Seoul ビル 6 階		
電話	+82-2-777-1835	FAX	+82-2-777-1837
URL	<a href="http://shizuokaseoul.com/">http://shizuokaseoul.com/</a> <a href="https://blog.naver.com/goshizuoka">https://blog.naver.com/goshizuoka</a>		
E-mail	shizuoka@shizuokaseoul.com		

### ●台湾駐在員事務所（台北）

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	<a href="http://www.shizuoka.org.tw/">http://www.shizuoka.org.tw/</a>		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

### <日本での連絡先>

静岡県 地域外交局 地域外交課  
 住所：静岡市葵区追手町 9-6  
 電話：054-221-2572 F A X：054-221-2542  
 E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg.jp